

連携支援センター “縁（ゆかり）”たより

湖西であんきに暮ら住まい

第53号
2026年10月

〈目次〉
・湖西病院　連絡先変更のお知らせ
・連携おたすけブック更新アンケートについて
・目の愛護デーについて
・第1回多職種研修会　報告

連絡先変更のお知らせ

湖西病院　地域・利用者支援センター絆



【変更前】
・病診連携担当（電話）053-576-1240
（FAX）053-575-0120
・在宅支援担当（電話）053-574-3220
（FAX）053-574-3220

【変更後】
病診連携担当・在宅支援担当ともに
（電話）053-576-1240
（FAX）053-575-0120または053-574-3220

連携おたすけブック更新　アンケートのお願い

湖西市内の関係機関に、毎年実施している更新の為のアンケートを、10月に行います。
今回は、多職種連携に関する項目を追加しています。提出がない場合は連携支援センターの相談員より確認の連絡をさせて頂きます。
お忙しい中、誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。
（締め切り：令和8年10月31日まで）



連携おたすけブック内情報

・目指す多職種連携のかたち
・連携をスムーズにする為の共通ルール
・地域と病院連携、循環イメージ
・入院から退院支援、調整の流れ
・在宅生活シュミレーション
・在宅医療、介護関連職種や機関等紹介、説明
・病院、医院、薬局、介護保険事業所等の情報
・社会資源　等

10月10日は「目の愛護デー」

「見える」ことを当たり前のように感じていますが、目の見え方は、食事や着替え、歩行、外出など、毎日の生活に大きく関わっています。高齢になると、加齢に伴って視力や見え方が変化することがあります。

👀このような変化を見つけた場合は



◆最近、物につまずくことが増えている
◆段差を怖がる様子が見られる
◆電気を点けずに洗い物をしていることがある
◆薬の袋や文字が見えにくそうな様子が見られる
◆食事の際に食べ物をこぼすことが増えている
◆外出をする機会が以前より減っている
◆「見えにくい」と話をすることが増えている

小さな気づきを、本人や家族、多職種で共有し、必要に応じて医療に繋げる事が大切です。

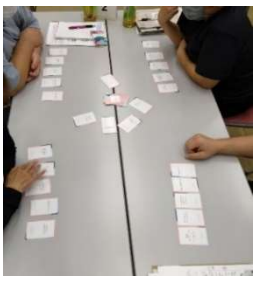
令和8年度第1回多職種研修会　報告



令和8年9月18日に第1回多職種研修会『生きる意欲を引き出すACPについて～パーソン・センタード・ケアを基盤とした認知症高齢者への支援～』と題して、浜松医科大学　医学部看護学科　老年看護学　特命研究教授・名誉教授　鈴木みずえ先生にご講演いただきました。

医師・看護師・入所施設・デイサービス・ケアマネ・地域包括支援センター等、色々な職種の方に参加いただき、認知症の方の希望（ACPに繋げる）を聞き取るヒントを学びました。

受講者感想



・認知症の方における意思決定の重要性や方法を学べた。
・認知症の方の気持ちを疑似体験し、心情に寄り添い、理解をする事が大切と改めて確認した。
・もしばなゲームでは、自分や他者が最後に大切にすることを知る機会になった。

※多職種の方と交流をすることができ、良かったという感想も多数あり、今後は顔を合わせて学べる機会を増やせればと思います。

第2回多職種研修会も計画中！
現場でのケアに役立つ内容です。

連携支援センター“縁”（ゆかり）　開設時間　月、水、木、金　9:00～16:00
電話:053-576-4900（直通）　FAX:053-576-1220　メール:kourei@city.kosai.lg.jp　〔担当：小寺〕
＊ 関係者の皆様で共有したい情報、知りたい情報がありましたらセンターまでお問い合わせください。
編集：連携支援センター“縁”　発行：静岡県湖西市役所健康福祉部高齢者福祉課